

受講料
無料

通信費や資料の印刷等は個人負担です。

農産物等を使った商品開発に取り組みたい方 必修!

オンデマンド講座

受講者募集
各講座先着 **80名**

※締切日8月11日(火)

このたび、やまぐち6次産業化・農商工連携人材育成研修のカリキュラムの中から、3講座をオンデマンド配信による公開講座とし、受講者を募集します。

A

公開期間

令和2年 8月25日(火)～2週間

〈商品開発セミナー〉 まず、やってみるから 始めよう

「人を笑顔にする仕事をする」をモットーに、「Food:食」を「Fun:楽しむ」活動をしている講師が、商品開発、販促企画などについて実践的な研修講義を行います。



講師

いわもと りこ

岩本 留子

Business Food Fun 代表
ビジネスフードアドバイザー

大手ファストフード企業に7年間勤務し、店長、スーパーバイザー、サービスマネージャーを経験。その後、飲食業界へ転職し、業態開発、人材育成、接客指導や商品開発などを経験。飲食業界・物販店などでの現場経験は15年間に及ぶ。現在は、これまでの経験を活かし、飲食分野を得意とした経営コンサルタント、接客研修、店長教育、メニューアドバイザーとして活躍中。「人を笑顔にする仕事をする」をモットーに、相談者の想いに寄り添う支援を行っている。

B

公開期間

令和2年 9月23日(水)～2週間

農福連携の広がりと期待

農業における労働力不足と障がい者の新たな就労場の開拓という両者の課題解決を背景に考案された農福連携の研究で第一人者である講師から、農福連携の最近の動向や農福連携から地域のあらゆる経済と結びつく農商工連携などに発展する期待についての講義を行います。



講師

はまだ けんじ

濱田 健司

一般社団法人
日本農福連携協会 顧問

東京農業大学大学院修了。博士(農業経済学)農の福祉力、障がい者就農、福祉連携などについて調査研究を行っている。また、著述、講演活動、さらには国、自治体、現場への助言、協力、テレビ出演など精力的な活動を行っている。農福連携を通して、地域のあらゆる経済と結びつく農福商工連携に発展し、地域を元気にし、多様な人間、動植物の命が輝く「里マチ」が構築されることを最終的な研究目標としている。

C

公開期間

令和2年 9月23日(水)～2週間

付加価値を生み出す 商品企画・開発

食の商品企画・開発を通じた実務経験から、新価値創造について、身近な商品・サービス事例を用い、わかりやすく解説します。



講師

いずみ もりかず

和泉 守計

特定営利活動法人
日本フードコーディネーター
協会理事

総合食品メーカーにて、製品開発、商品企画、知的財産(商標、ブランド)、マーケティングリサーチ、アグリ事業に携わり現在に至る。その傍ら、フードコーディネーターとして、食材から食卓までを一貫するバリューチェーンにより新価値を創造する広い視点からの教育活動、地域活性化のための事業者支援活動を行っている。講師としては、専門的な知識や経験がなくても、多種のアイテムや事例を用いて行うわかりやすい講義には定評がある。

実施主体:山口県

運営主体:公益財団法人 やまぐち農林振興公社(やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター)

この研修事業は、令和2年度農林水産省食料産業・6次産業化交付金を活用し、山口県から当社が受託して実施するものです。



お申込については
裏面をご利用
ください